

# 2024年度 環境経営レポート

[ 2024年4月～2025年3月 ]

2025年11月10日発行



株式会社コアイフ

## 目次

1. はじめに	3
2. 組織の概要	4
3. 対象範囲	5
4. 環境方針	6
5. 環境目標とその実績	7
6. 今後の目標	8
7. 実際に行っているエコ活動	9
8. 環境活動計画の内容と評価、次年度の取組	10
9. 各営業所の環境負荷及び取組の状況	14
10. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	15
11. 代表者による評価と見直し結果	16

# 1.はじめに

当社は、1983年に西部ガスグループの環境分野を担う会社として設立され、現在では、施設管理・清掃・警備などのビルメンテナンス業と緑化・外構・土木事業を専門領域としています。

また、官公庁施設における指定管理者制度などのPPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ:公民連携)にも積極的に参画することで地域のご期待にもお応えしています。

まだまだ沢山の目指す姿があります。

当社は、創立以来41年間チャレンジしてきました。これからも、もっと、もっとチャレンジしていきます。チャレンジは、失敗と表裏一体です。しかしながら今日の失敗があり続けることはなく、今日の失敗があるからこそ、次の成功があると信じています。

従業員一人一人が、経営者であるかのように全てのエネルギーを出し切って、創意工夫とチャレンジ精神に徹し、より良い環境を提供します。

## PHILOSOPHY [理念]

創意工夫とチャレンジ精神に徹し、  
より良い環境を提供します。

当社の従業員がめざす姿

①  
エッセンシャルワーカーとして  
クリーン・安全・安心の創出！！

②  
施設の維持管理から  
ファシリティマネジメントによる  
お客さま信頼の創出！！

③  
信頼の警備に温もりを加えた  
ソフト・ハード両面での  
安全・安心の創出！！

④  
グリーン・コンストラクター  
として緑豊かな生活・都市空間  
の創出！！

⑤  
指定管理者としての  
地域・住民サービスの高度化と  
賑わいの創出！…

Footwork  
軽快・巧みな処理能力

Vitality  
生命力・活気・持続力

FIVE

Idea  
考え・思考力

Energy  
気力・精力・活動力

## 2. 組織の概要

### 1. 名称及び代表者名

株式会社ファイブ 代表取締役 花田淳一

### 2. 所在地

本社 福岡県福岡市博多区千代1-17-1

北九州営業所 福岡県北九州市小倉北区愛宕1-5-10

長崎営業所 長崎県長崎市御船蔵町1-1

熊本営業所 熊本県熊本市中央区荻原町14-10

佐世保出張所 長崎県佐世保市万津町7-3

### 3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者 下村 亨 TEL092-633-5510

担当者 東福 慎之介 TEL092-633-5510

### 4. 事業内容

ビルメンテナンス業務(清掃業務、設備管理業務等)

緑化建設業務(造園・土木工事)

警備業務(建物警備等)

### 5. 許可業種

○建設業許可 福岡県知事(特-3)第45244号(許可期間:令和8年5月まで)

土木工事業/建築工事業/大工工事業/左官工事業/とび・大工工事業/石工工事業

屋根工事業/管工事業/タイル・れんが・ブロック工事業/鋼構造物工事業

舗装工事業/しゅんせつ工事業/板金工事業/ガラス工事業/塗装工事業/防水工事業

内装仕上工事業/造園工事業/建具工事業/水道施設工事業/解体工事業

○建設業許可 福岡県知事(般-3)第45244号(許可期間:令和8年5月まで)

消防施設工事業/電気工事業

○警備業認定 福岡県公安委員会 第90000194号(許可期間:令和8年9月まで)

○建築物環境衛生総合管理業登録 福岡県2総第118号(許可期間:令和9年1月まで)

### 6. 事業の規模

資本金:4,400万円 設立日:1983年6月1日

売上高:33億889万円(2024年度実績) 工事等の件数:439件

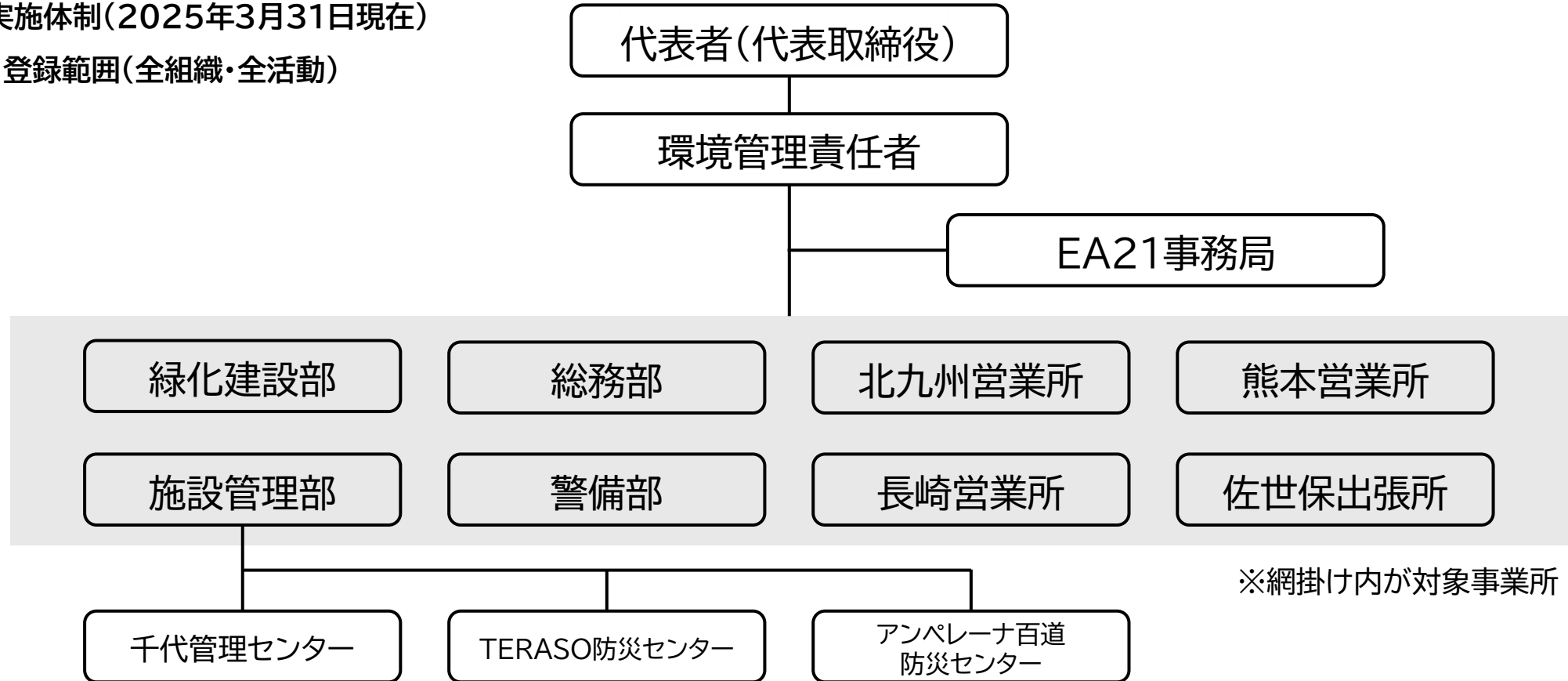
### 7. 事業年度

4月1日～3月31日

### 3. 対象範囲

EA21実施体制(2025年3月31日現在)

※認証・登録範囲(全組織・全活動)



※網掛け内が対象事業所

	本社	北九州	長崎	熊本	佐世保	全社
従業員数(人)	31	4	4	3	1	43
延べ床面積(m <sup>2</sup> )	454.36	50.10	60.30	37.51	15.96	618.23

## 4. 環境方針

### 環境理念

現在、地球温暖化をはじめとする地球環境問題が世界的に懸念されています。そのような状況の中、当社はすべての事業活動において環境保全を常に意識し、緑豊かな地球環境の実現を目指します。

### 環境方針

1. 循環型社会の実現を目指し、節電や車両燃料削減などの省エネルギー、廃棄物の再資源化、節水などに積極的に取り組みます。
2. 緑化事業を通じて、緑豊かなやすらぎの環境を提供し、自然と調和のとれた社会の構築を目指します。
3. 化学物質の使用を削減します。
4. グリーン購入を推進します。
5. 関係する環境関係法規を遵守します。
6. 上記の環境への取組について、継続的な改善を行っていきます。
7. 循環型社会及び環境保全の重要性を全従業員に周知徹底します。

2024年4月1日  
株式会社ファイブ  
代表取締役 花田淳一

## 5. 環境目標とその実績

項目	単位	基準値 (2021実績値)	目標 (1.5%削減)	2024年度 実績	達成率 ○:達成×:未達成
二酸化炭素排出量(※1)	kg-CO <sub>2</sub>	52,760.4	51,969.0	49,423.2	105.2% ○
電力	kWh	21,646.0	21,321.3	18,337.0	116.3% ○
ガソリン	L	19,443.7	19,152.1	18,268.4	104.8% ○
廃棄物排出量(※2) (本社事務所からでる事業系一般廃棄物)	kg	1,330.6	1,310.6	1,630.3	80.4% ×

【監視項目】	2024年度実施内容
購入備品におけるグリーン購入商品の割合	購入可能備品については、100%達成
社有車のハイブリット車導入	社有車のハイブリッド車導入については、計画的に進めており当該年度は対象車両なしのため未導入
施工・サービスにおける環境配慮	施設管理部:安全衛生会議・部署内月例会議(1回/月)にてエコ活動の推進教育を実施
	緑化建設部:チップマルチング(剪定屑の再利用)を230㎡実施
<評価>	<p>電気使用量は、目標を達成できた。引き続き空調の設定温度(夏場28度、冬場20度)を適正に遵守し、使用していない場所の電気OFF、クールビズ・ウォームビズの実施、長時間退席時のパソコン電源OFFなどで積極的に節電を行っていく。</p> <p>ガソリン使用量は、目標を達成できた。来年度も、エコドライブ10のすすめを念頭に置き、各車両エコドライブを実施していく。</p> <p>廃棄物は、目標を達成できなかった。引き続きゴミの低減に向け社員全員で行動する。</p> <p>その他の取組や目標を達成できた項目についても、今後も継続して削減に向けて取り組んでいくこと。</p>

※1電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の2018年度調整後排出係数0.347kg-CO<sub>2</sub>/kWhを用いています。

※2産業廃棄物および現場からでる一般廃棄物は取組中心に行っています。

## 6. 今後の環境目標

環境目標	単位	基準値 (2024年実績)	2025年度 0.5%削減	2026年度 1%削減	2027年度 1.5%削減
二酸化炭素排出量の削減(※1)	kg-CO <sub>2</sub>	49,423.2	49,176.1	48,928.9	48,681.8
電力使用量の削減	kWh	18,337.0	18,245.3	18,153.6	18,061.9
ガソリン給油量の削減	L	18,268.4	18,177.0	18,085.7	17,994.4
廃棄物排出量 (本社事務所からでる事業系一般廃棄物)	kg	1,630.3	1,622.1	1,613.9	1,605.8

【監視項目】						
項目	内容	単位	2024年度実績	2025年度	2026年度	2027年度
グリーン購入の推進	購入備品における グリーン購入商品の割合	%	100% グリーン商品 のみのカタログ から購入	100% グリーン商品 のみのカタログ から購入	100% グリーン商品 のみのカタログ から購入	100% グリーン商品 のみのカタログ から購入
	社有車のハイブリット 車新規導入台数(※2)	台	0	1	1	1
施工・サービスに おける環境配慮	施設管理部：安全衛生協議会・部署内月例会議(1回/月)の場でのエコ活動の推進教育の実施。					
	緑化建設部：チップマルチング (剪定屑の再利用)の実施	m <sup>2</sup>	230	230	230	230

※1電力の二酸化炭素排出係数は、アーバンエナジー社の電力排出係数(西部ガスグループで契約しているJFE系新電力、2023年調整後標準メニュー0.392kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を用いています。  
 ※2ハイブリッド車入替対象車両が2025年度以降にない場合は、既存の車両において低燃費・低排出ガス認定ガソリン車への入替を監視項目に致します。

# 7. 実際に行っているエコ活動(ドレスフリー服装自由化の取り組み)

2024年5月より、働き方の多様化や従業員一人ひとりの主体性を尊重する観点から、ドレスフリー(服装自由化)の取り組みを推進しています。

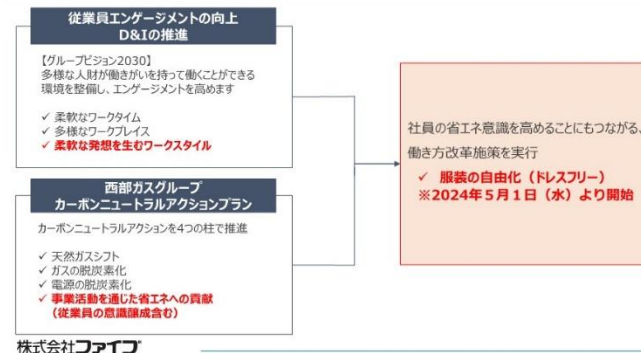
本取り組みでは、業務内容やTPOに応じて、社員自らが最適な服装を選択できる環境を整備しています。本取り組み通じて、これまで以上に柔軟で自律的な働き方の実現を目指しています。

ドレスフリーの導入により、社員の快適性や生産性の向上に加え、創造性の発揮やコミュニケーションの活性化といった効果が期待されています。また、多様な価値観や個性を尊重する風土づくりの一環としても重要な取り組みと位置づけています。

今後も、社員がいきいきと働ける職場環境の整備を進め、持続的な企業価値の向上に取り組んでまいります。

## 取り組みの概要

- 現在、西部ガスホールディングス(株)および西部ガス都市開発(株)が、服装の自由化の取り組みを実施している。当社においてもカーボンニュートラルアクションプランを踏まえ、「社員の環境意識の醸成・省エネ推進」、「従業員エンゲージメントの向上」、「D&Iの推進」の観点から本取り組みを実施する。



## 参考:服装の一般的なカテゴリ(男性)

服装の種類	フォーマル	ビジネス・カジュアル	オフィス・カジュアル	カジュアル
公式な場	○	○ (襟付きシャツを推奨)	×	×
社外訪問	○	○	△ (場合に応じて判断)	×
接客対応	○	○	○	△ (場合に応じて判断)
社内作業	○	○	○	○
服装	スーツ ネクタイ 革靴	スーツ・ジャケット 襟付きシャツ・Tシャツ 革靴・革スニーカー等	襟付きシャツ Tシャツ・カーデガン 革靴・革スニーカー等	襟付きシャツ・Tシャツ スニーカー等
イメージ				

株式会社ファイブ

※画像は参考の南山公式HP BUSINESS WEAR GUIDEより引用  
[https://www.y.sazayama.jp/campaign/bw\\_guide/index.html](https://www.y.sazayama.jp/campaign/bw_guide/index.html)

## 参考:服装の一般的なカテゴリ(女性)

服装の種類	フォーマル	ビジネス・カジュアル	オフィス・カジュアル	カジュアル
公式な場	○	○	×	×
社外訪問	○	○	△ (場合に応じて判断)	×
接客対応	○	○	○	△ (場合に応じて判断)
社内作業	○	○	○	○
服装	スーツ シャツ・ニット パンプス	ジャケット・パンツ・スカート シャツ・ニット パンプス等	ニット・パンツ・スカート シャツ・ニット パンプス・ローファー等	シャツ・カットソー・カーデガン パンツ・スカート スニーカー等
イメージ				

株式会社ファイブ

※画像は参考の南山公式HP BUSINESS WEAR GUIDEより引用  
[https://www.y.sazayama.jp/campaign/bw\\_guide/index.html](https://www.y.sazayama.jp/campaign/bw_guide/index.html)

## 7. 実際に行っているエコ活動(令和6年度西区外2区街路樹等管理業務委託)



西区街路樹管理業務の中で、剪定した枝をリサイクル業者へ持ち込んでいます。中山リサイクル産業さまにてチップ化していただき、バイオマスエネルギーとして利用いただいております。



ブローアやチェーンソーなどバッテリー式機器を積極的に使用し、排ガス削減・静音化など環境に配慮した作業を行っています。



夜間作業時には、NETIS登録のLED投光器を使用し、安全性と省エネルギー性に配慮した照明環境を確保しています。

## 7. 実際に行っているエコ活動(西部ガスグループ油山研修所の緑地が自然共生サイト認定を取得)

2025年9月、当社が管理している西部ガスグループ油山研修所の緑地が、環境省による「自然共生サイト」に認定されました。本研修所は、福岡市南部・油山のふもとに位置し、豊かな自然環境の中で従業員の研修や交流の場として活用されています。敷地内には樹木や草地、小川、湿地が広がり、都市近郊にありながらも里地里山の生態系が保たれています。

中央を流れる小川は博多湾へとつながる河川の上流にあたり、せせらぎの音は訪れる人々に癒しと安らぎをもたらします。また、四季折々の植栽が施されたアプローチは、研修生の感性を育む「文化的サービス」としての役割も担っています。

今後は、当該緑地を活用した環境教育の推進や、地域における生物多様性の保全・つながりの場としての機能強化に取り組んでまいります。



## 7. 実際に行っているエコ活動(西部ガスグループ中期経営計画ACT2027)



西部ガスグループ中期経営計画「ACT2027」では、2050年のカーボンニュートラル実現に向けた取り組みを中核テーマの1つとして位置づけています。カーボンニュートラル潮流の加速により、低炭素な天然ガスおよびガス体エネルギーの脱炭素化の必要性が高まる中、西部ガスグループはトランジション需要の獲得とひびきLNG基地の能力増強を通じて、環境時代に対応したエネルギー供給体制の強化を推進します。さらに、メタネーション・水素活用などガス体エネルギーの脱炭素化を将来の重点領域と位置付け、「西部ガスカーボンニュートラル2050」と連動した環境経営を進める方針です。

## 8. 環境活動計画の内容と評価、次年度の取組

### 〈事務所〉

目標	環境活動計画	責任者	評価	取組結果
				次年度の取組
電気使用量削減	空調の設定温度を定める(冷房28℃、暖房20℃)	下村	○	事務所の窓を適宜開放するなどして、徹底
				継続実施
	不要電力消費の抑制	下村	○	昼休み・残業時の消灯を徹底
				継続実施
	長時間席を離れる時のパソコン電源OFF	山口寛信	○	外出時は電源OFFの実施
				継続実施
クールビズ、ウォームビズの導入	下村	○	オールシーズンノーネクタイ制度を導入し、各自気温に適した服装を行う	
			継続実施	
化石燃料使用量削減	省エネドライブ、アイドリングストップの徹底	山口寛信	○	アイドリングストップ搭載車両を導入した
				引き続きアイドリングストップ搭載車両を優先的に導入
	車両管理簿によるガソリン、軽油の使用量の管理	下村	○	実施し削減
各車両の燃費等情報を周知し、エコドライブを徹底(継続実施)				

目標	環境活動計画	責任者	評価	取組結果
				次年度の取組
廃棄物排出量削減	排出ごみ袋の削減	西本	○	各部とも適正に実施
				シュレッダーの使用を機密文書に限ることの徹底実施
	分別によるリサイクルの促進	西本	○	分別の徹底実施
				継続実施
	コピー用紙の裏紙活用	下村	○	各部とも適正に実践
				継続実施
	コピーミゼロへの取り組みへの徹底	下村	○	各部とも適正に実践
				継続実施
両面コピー、集約印刷の活用	下村	○	両面印刷デフォルト設定を実施	
			継続実施	
使用済み封筒の再利用	下村	○	社内便封筒などの再利用を実践	
			継続実施	
シュレッダーの使用を機密文書に限る	下村	○	各部とも適正に実践	
			継続実施	
グリーン購入推進	エコマーク商品の優先的な購入	西本	○	購入可能備品については100%達成
社会貢献	地域ボランティア活動への積極的な参加	下村	○	今年度は、ラブアース・クリーンアップに参加 次年度は、クリーンアップ福岡に参加予定

評価者：下村

## 8. 環境活動計画の内容と評価、次年度の取組

### 〈緑化建設部関係の現場〉

目標	環境活動計画	責任者	評価	取組結果
				次年度の取組
電気使用量削減	仮設事務所 不在時は、照明・空調の電源OFF	中西 好人	○	現場事務所を不在にする時は、必ず電源OFFを実施 継続実施
化石燃料使用量削減	現場内は、車両走行の厳守速度を設けガソリン・軽油使用量の軽減の徹底	中西 好人	○	朝礼等での呼びかけにより、現場内での速度の遵守、待機時のエンジンを切る等、実施 継続実施
廃棄物排出量削減	現場で発生する剪定枝等の産廃は、リサイクル(チップ化)する事により廃棄物排出量の削減に努め又チップを再利用する事により地球にやさしいエコ対策を実施	山口 優作	○	福津市総合運動公園にて粉碎機を用いて再利用を実施 継続実施
総排水量削減	水の蛇口鍵を設け現場担当者が管理	中西 好人	○	必要時のみ使用 継続実施
グリーン購入推進	再生材を利用	山口 寛信	○	見積り作成時に提案し、実施 継続実施
	エコマーク商品の優先的な購入	山口 寛信	○	購入可能商品は、実施 継続実施
施工・サービスにおける環境配慮	チップマルチング(剪定屑の再利用)の実施	山口 優作	○	剪定作業時には積極的に実施 継続実施

評価者：山口寛信

項目	単位	2023年度	2024年度	評価
産業廃棄物	t	142.4	290.9	大型の公共工事の受注があり、増加した。

### 〈施設管理部関係の現場〉

目標	環境活動計画	責任者	評価	取組結果
				次年度の取組
電気使用量削減	清掃控室等、不在時は照明・空調の電源OFF	松本	○	不在時はこまめな消灯、空調電源を切り、コンセント取外しを実施し、待機電力の発生を抑制 継続実施
化石燃料使用量削減	清掃・工事等の現場に向かう際の車両は、複数相乗りを原則とし、単独使用の回避	松本	○	スケジュールを共有し、極力複数移動の実施 継続実施
廃棄物排出量削減	現場にて発生する廃棄物は分別収集を実施し、金属類やダンボール等の再資源化を徹底	松本	○	分別のゴミ袋を配布し、徹底 継続実施
総排水量削減	水の蛇口に鍵を設け現場担当者が管理	松本	○	各現場担当者が責任者からの指示のもと厳正に管理 継続実施
グリーン購入推進	エコマーク商品の優先的な購入	松本	○	購入の際には必ず確認し、優先的に購入 継続実施
化学物質使用量削減	バイオ系の製品を利用し、化学物質の使用の抑制	松本	○	社員の他、協力企業にも十分確認し、使用の抑制を実施 継続実施
施工・サービスにおける環境配慮	安全衛生会議・部署内月例会議(1回/月)の場でのエコ活動の推進教育の実施	松本	○	月に1回の頻度で実施 継続実施

評価者：下 條

施設  
管理部

Let's クリーン&マネジメント  
建物の健康管理

ビルを利用する人々にとって快適な室内環境は欠かせません。ファイブは、建物の清掃や設備管理、空調や電気、消防、テナント工事など、ビルメンテナンスのすべてを一括管理。安心しておまかせください。

清掃管理

日常清掃、定期清掃、特別清掃とお客様のニーズにあわせたクリーンサービスを実施しています。インスペクション評価制度を導入し、資格保有者が業務品質の管理を行っています。

日常清掃

- 床面の掃き拭き・什器類
- エレベーター・玄関扉の清掃

定期清掃

- 外周清掃・トイレ清掃
- ゴミ回収 等
- 床面洗浄、ワックスがけ
- カーペット洗浄、ガラス清掃
- 空調機フィルター清掃 等

特別清掃

- 空調機分解洗浄、外壁清掃
- ブラインド清掃、竣工清掃
- ハウスクリーニング 等

AIお掃除ロボットを  
導入しています



建物の保全運転・維持管理

長年積み上げてきた知識と経験、高度な設備技術で快適・安全な場を提供します。



関連工事

空調・電気工事やテナント入れ替え時の設備工事など建物内外の工事を実施しています。また、九州初となる民間企業への災害用トイレ導入工事も行いました（2023年1月）。



商業施設やオフィスビル、工場、公共施設など様々な施設を管理しています。豊富な経験とノウハウで建物管理に関するあらゆるお客さまの声にお応えします。

PFI・指定  
管理事業

Let's デザイン&マネジメント  
地域・住民サービスの高度化と賑わいの創出

近年、民間の資金や経営能力、技術力を活用し公共施設等の建設、維持管理、運営等を行う「PFI事業」と既に建設されている公共施設の管理運営を行う「指定管理事業」に取り組んでいます。公共施設の指定管理者として、提供サービスを充実し施設や地域の目的に合った管理運営を行っています。



糸島市運動公園（令和5年7月開園）  
令和19年までコンソーシアムの  
メンバーとして参画しています。

緑化  
建設部

Let's グリーン&パーク  
緑いっぱいの街を未来に残す

造園工事、緑化メンテナンスの設計・施工、樹木調査、指定管理物件の管理・運営を行っています。

造園・緑化工事

工物件は作品として考え、よりよい作品一つでも多く残すよう努めています。



土木・外構工事

建物外構工事ももちろん、大規模な造成工事など快適な街づくりのプランから完成までを、一手に引受けています。豊かな都市生活へ、確かな技術と真心のサービスで応えます。



貸植木（緑のサービス）

オフィスビルの観葉植物のリースなど、気持ちのリフレッシュをお手伝いしています。お気軽にお問合せください。



警備部

Let's セキュリティ&セーフティ  
安心・安全な環境を日夜守り続ける

常駐警備

オフィスビルや工場などの施設で、監視や巡回、入退出者の管理などを行っています。

交通誘導警備

工事現場や建築現場等で、一般車両や歩行者の通行の安全を図り、交通渋滞や事故発生のを未然防止を図ります。

機械警備

様々なセンサーや設備によって、防犯だけでなく、火災設備異常まで、広範囲の監視を行います。



防犯カメラシステム

オフィスや飲食店、駐車場、倉庫など、ニーズに合わせたカメラ設置の提案を行います。



入退館システム

建物や室内において、関係者以外の出入りを制限するためにIDカードなどの認証システムを使って、施設内での情報漏洩や盗難などのトラブルを未然に防ぎます。

## 9. 各営業所の環境負荷及び取組の状況

	広さ (m <sup>2</sup> )	職員数	環境負荷					
			電気	水道	ガス	ガソリン	事務所ゴミ	コピー用紙
北九州営業所	50.10	4	○	—	—	○	※	○
熊本営業所	43.26	3	○	—	—	○	※	○
長崎営業所	60.30	4	○	○	—	○	※	○
佐世保出張所	22.00	1	—	—	—	—	※	○

※事務所内のゴミは微量の為計測できません

主な環境負荷は、現場に移動するときのガソリン使用量です。急発進、急停車をやめるなどエコドライブを心がけています。環境負荷のうち、電力、ガソリン等については実績把握しています。

目 標	環境活動計画	北九州営業所 (責任者:小松)	長崎営業所 (責任者:大久保)	熊本営業所 (責任者:吉村)	佐世保出張所 (責任者:大川)
電気使用量削減	空調の設定温度を定める(冷房28℃、暖房20℃)	○	○	○	○
化石燃料使用量削減	省エネドライブ、アイドリングストップの徹底	○	○	○	○
廃棄物排出量削減	両面コピー、集約印刷の活用	○	○	○	○
グリーン購入促進	エコマーク商品の優先的な購入	○	○	○	○

## 10. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規	具体的な遵守内容	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	許可を受けた一般廃棄物収集・運搬業者ならびに一般廃棄物処分業者に委託する	○
	産業廃棄物が運搬されるまでの間、技術上の基準に従い、保管する	○
	許可を受けた産業廃棄物収集・運搬業者ならびに産業廃棄物処分業者に委託する	○
	収集運搬業者及び処分業者との書面による委託契約	○
	管理票の交付(廃棄物の種類ごと、運搬先ごと)	○
	毎年6月30日までに前年度に交付した管理票の交付状況を知事に提出する	○
建築物における衛生的環境の確保に関する法律	建築物環境衛生管理基準に従って当核特定建築物の維持管理を行う	○
	建築物環境衛生管理技術者の意見を尊重する	○
建築基準法	建築物の敷地、構造及び建築設備を常時適法な状態に維持するように努める	○
	特定建築設備について、定期的に国土交通大臣が定める者に検査させて、その結果を特定行政庁に報告する	○
電気事業法	主任技術者は、事業用電気工作物の工事、維持又は運用に関する保安の監督の職務を誠実に執行する	○
消防法	定期的に消防設備の自主点検を実施	○
	設置基準(消火器、自動火災報知設備) 総合点検:1回/年 機能点検:2回/年	○
騒音規制法	敷地境界線上において60デシベル以下保持が必要	○
警備業法	警備業務のうち、その実施に専門的知識及び能力を要し、かつ、事故が発生した場合には不特定又は多数の者の生命、身体又は財産に危険を生ずるおそれがあるものを行うときは、その種別ごとに合格証明書の交付を受けている警備員に、当該種別に係る警備業務を実施させなければならない。	○
	営業所及び当該営業所において取り扱う警備業務の区分ごとに、警備員の指導及び教育に関する計画を作成し、その計画に基づき警備員を指導・教育する業務を行う警備員指導教育責任者を、警備員指導教育責任者資格者証の交付を受けている者から、選任しなければならない。	○

※本社の空調は地域熱供給を受けており、また営業所・出張所はテナント入居していることから業務用冷凍空調機を所有・管理しておりません。  
なお、ビルメンテナンス業務で当該機器に関与する可能性が除外できないことから一覧表等にて管理・実施します。

# 11. 代表者による評価と見直し結果

## ・全体的な評価

2024年度について2021年度の全社実績を基準とし、環境活動に全社一丸となって取り組んだ。各項目については以下の通り。

〔電気使用量〕目標を達成できた。引き続き空調の設定温度(夏場28度、冬場20度)を適正に遵守し、使用していない場所の電気OFF、クールビズ・ウォームビズの実施、長時間退席時のパソコン電源OFFなどで積極的に節電を行っていく。

〔ガソリン使用量〕目標を達成できた。来年度も、エコドライブ10のすすめを念頭に置き、各車両エコドライブを実施していく。

〔廃棄物〕目標を達成できなかった。シュレッダーごみの増加が原因と考えられる。シュレッダーゴミ以外のゴミの量は減少しているので、引き続きゴミの低減に向け社員全員で行動する。

## ・次年度への見直し

環境方針・環境目標は現状のまま継続していく。また今後も環境方針及び環境目標の全社員への周知徹底を継続して行い、当社の全ての事業において環境保全を常に意識し、お客様に対して省エネ及び環境を配慮したサービスを提案していき、緑豊かな地球環境を目指していく。

## ファイブの地域貢献

2021年から災害時用非常食を販売しています。毎年、島原地区では雲仙普賢岳大災害を教訓に防災避難訓練を開催されておりますが、その避難訓練の場で、2021年大野木場小学校へ1,000食、2022年安中地区へ750食、2023年有明地区へ760食、2024年三会地区へ345食、2025年杉谷地区へ285食を寄贈してまいりました。

大噴火災害を機に地域支援を目的に始めた「島原手延べそうめん販売」の収益を生かして、今後も地域貢献に取り組んでいきます。

